

益子町历史文化基本构想

2017年1月
益子町教育委员会

目 次

第1章 益子町歴史文化基本構想策定の概要

1. 益子町歴史文化基本構想策定の経緯

- 1-1 益子町歴史文化基本構想策定の背景と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 1-2 基本構想策定にいたるまでの経過、調査・検討の流れ・・・・・・・・・・ 1
- 1-3 実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 1-4 策定委員会・個別ヒアリングの経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2. 基本構想の位置付け

- 2-1 上位計画の中での位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2-2 関連計画及び事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2-3 基本構想の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

第2章 益子町の概要と歴史文化遺産の現況

1. 益子町の概要

- 1-1 立地と交通・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 1-2 益子町の自然・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 1-3 益子町の歴史・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 1-4 社会的状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

2. 文化財および歴史文化に関わる施策等

- 2-1 組織・体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 2-2 歴史文化に関わる施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- 2-3 歴史文化に関わる施策及び事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- 2-4 歴史文化に関わる町民等の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 2-5 歴史文化に関わる町民意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

第3章 益子町の歴史文化の特性と保存・活用の課題

1. 益子町の歴史文化

- 1-1 自然の特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- 1-2 歴史の特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- 1-3 暮らしと文化の特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- 1-4 益子町の歴史文化特性のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

2. 益子町の歴史文化遺産

- 2-1 文化財および歴史文化に関わる調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- 2-2 指定文化財・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
- 2-3 未指定文化財・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
- 2-4 地域ごとの文化財の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61

3. 歴史文化保存・活用の課題

- 3-1 保存・活用の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
- 3-2 調査研究の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
- 3-3 体制上の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66

第4章 歴史文化保存・活用の方針

1. 基本理念と目標	
1-1 基本理念	67
1-2 基本目標	67
2. 歴史文化を活かした町づくり	
2-1 歴史文化特性に基づくテーマ	68
2-2 町づくりに活かすための方向性	68
3. 文化財の保存・活用	
3-1 保存・活用の方向性	73
3-2 関連文化財群	74
4. 歴史文化保存活用区域	
4-1 設定の考え方	78
4-2 歴史文化保存活用地区	80
4-3 拠点資産	88

第5章 実施に向けての検討

1. 今後の事業展開（進め方）について	91
---------------------	----

巻末資料

未指定文化財リスト	92
-----------	----

例 言

1. 本書は、平成27年度から平成28年度にかけて実施した調査成果を、益子町歴史文化基本構想としてまとめたものである。
2. 本書策定事業は、「益子町歴史文化基本構想策定委員会」を設置し、各専門分野の先生方に委員を委嘱してその意見を拝聴し、また文化庁、栃木県教育委員会の指導と関係部局・関係機関等の助言を受けながら実施した。
3. 本書の編集、執筆は益子町生涯学習課と株式会社文化財保存計画協会が共同して行った。本書に掲載した写真の一部は関係部局・関係機関等の撮影によるものも借用した。

第1章 益子町歴史文化基本構想策定の概要

1. 益子町歴史文化基本構想策定の経緯

1-1 益子町歴史文化基本構想策定の背景と目的

益子町は、西明寺三重塔や楼門など中世に建立された7つの国指定有形文化財のほか、中世の城跡など、数多くの貴重な有形文化財を有している。また、町内各集落には神楽、獅子舞などの民俗芸能や江戸期に描かれた歌舞伎舞台背景襖絵、祭礼で使用する彫刻屋台などの有形・無形の民俗文化財も数多く継承されている。

さらに、益子焼に代表される焼き物のふるさとであるとともに、藍染めや鍛冶、木工など手仕事のふるさととして主に江戸期から様々な生業が発展した。近代になってからは益子焼の発展に尽くしその繁栄の礎を築いた濱田庄司が柳宗悦とともに民藝運動を起こし、益子町の歴史の中で培ってきた手仕事の文化とその精神を広く内外に普及させた。

未来に向けた益子町のまちづくりにおいて、文化財が町のかげがえのない資源であるという認識に立って保存・継承に取り組むことはもちろんのこと、町民自らがこれら文化財に潜在する様々な価値に気づき、地域力によって暮らしの中に生かしながら、文化の継承、観光の振興、地域の活性化を一体的に進めていくことが急務であると考えます。

このことから、益子町歴史文化基本構想（以降「基本構想」という）は、益子町内の指定・未指定を問わず広く文化財の総合的な把握を行うとともに、益子町の風土を活かして総合的に保存・活用していくための考え方・方針等を定めることを目的とするものである。

1-2 基本構想策定にいたるまでの経過、調査・検討の流れ

上記目的を達成し、益子焼に代表される焼き物のふるさとに新たな魅力を加え、町内外に発信するために、まず近隣自治体などから策定方法などの情報やアドバイスをいただくほか、町内外の有識者で組織された益子町歴史文化基本構想策定委員会（以降「策定委員会」という）を立ち上げた。以降は策定委員会を計4回実施し基本構想の内容について検討しまとめた。また、多くの専門家から個別に益子町の歴史文化に関するヒアリングを実施する中で、その特性や保存・活用についてまとめる作業を行った（第1章1-4参照）。

基本構想は歴史文化に関する現状と今後の保存・活用計画に大別される。前者については指定・未指定を問わず文化財の悉皆調査を行う必要があり、町では『益子町史』（第1巻～第6巻、別巻）などの既存発行物や地域住民とともに、「文化財探検隊」を実施して文献調査で得られた情報をもとに現地確認調査を行うほか、土祭^{ひじさい}2015の開催に合わせて平成26年10月から翌年9月まで実施された「益子の風土・風景を読み解くプロジェクト」で得られた情報などをもとに現状把握を行った（調査については第3章2-1参照）。

1-3 実施体制

基本構想策定にあたり、益子町生涯学習課が事務局となり、地域住民及び学識経験者からなる策定委員会を組織した。また、策定委員会では栃木県及び益子町関係部署からも出席いただき、指導を仰いだ。

【益子町歴史文化基本構想策定委員】

委員長	日下田 正	町文化財保護審議会会長、元栃木県手仕事会会長
副委員長	平野 良和	栃木県民藝協会会長、前益子町長
	大澤 伸啓	足利市生涯学習課長
	松本 一夫	前栃木県芳賀青年の家所長、県立上三川高校校長（～平成28年3月）
	江田 郁夫	栃木県立博物館学芸部長（平成28年5月～）
	星 直斗	栃木県立博物館学芸部自然課主任研究員（平成28年5月～）
	廣田 茂十郎	益子町議会議長
	横堀 聡	益子陶芸美術館／陶芸メッセ・益子副館長、益子町文化財保護審議会委員
	鈴木 英之	観光ボランティアガイドましこ会長、益子町文化財保護審議会調査委員
	添谷 玉枝	益子町文化財保護審議会調査委員
	山口 孟	住民代表、前益子町文化財保護審議会会長

【指導機関】

栃木県文化財課

栃木県立博物館

栃木県窯業技術支援センター

栃木県東環境森林事務所

栃木県芳賀農業振興事務所

栃木県真岡土木事務所

益子町教育長 岡 良一郎

益子町産業建設部長 高野 貞夫

益子町環境課長 櫻井 弘美（平成27年度）／仁平 勝雄（平成28年度）

益子町建設課長 大関 保

益子町観光商工課長 高濱 文夫

益子町農政課長 河原 平

益子町企画課長 萩庭 正幸（平成27年度）／日下田 純（平成28年度）

【事務局】

益子町生涯学習課長兼中央公民館長 加藤 友之

益子町生涯学習課文化係長 高塩 悦子

益子町生涯学習課文化係 菊井 和美

益子町生涯学習課文化係 坂倉 永悟

コンサルタント ㈱文化財保存計画協会

1-4 策定委員会・個別ヒアリングの経過

策定委員会を平成27年度から平成28年度にかけて計4回開催した(表1-1参照)。また、策定委員会とは別に、個別に委員や専門家、町の歴史文化に関わる活動を行う町民等計18名から、益子町の歴史文化の特性や保存・活用について個別ヒアリング(表1-2参照)を実施した。

表1-1 策定委員会概要

実施日	策定委員会	内容
平成27年 12月18日	第1回	○委嘱状交付、委員紹介、委員長・副委員長の選出 ○基本構想等の概要説明 等
平成28年 2月23日	第2回	○益子町の歴史文化の概要と特性 等
平成28年 8月2日	第3回	○個別ヒアリングについて(報告) ○歴史文化のテーマと関連文化遺産群 ○歴史文化の保存・活用の課題 ○歴史文化保存活用計画 等
平成28年 11月24日	第4回	○益子町の歴史文化の保存と活用 ○益子町歴史文化基本構想(最終案)

表1-2 個別ヒアリング概要

実施日	対象者(敬称略)	内容
平成28年 3月11日	廣瀬 俊介(風土形成デザイナー) 簗田 理香(土祭事務局)	○益子の風土・風景を読み解くプロジェクトについて ○土祭について ○益子の歴史文化の特性について
平成28年 3月17日	松本 一夫(前掲)	○益子の歴史文化の特性について(特に中世史)
平成28年 5月19日	大澤 伸啓(前掲)	○益子の文化財について ○益子の歴史文化の特性について
平成28年 5月19日	橋本 澄朗(栃木県考古学会長)	○益子の歴史文化の特性について ○日本遺産のテーマについて
平成28年 6月9日	日下田 正(前掲) 平野 良和(前掲)	○濱田庄司、民藝について
平成28年 6月24日	横堀 聡(前掲) 水沼 利広(栃木県窯業技術支援センター長) 塚本 準一(前栃木県窯業技術支援センター長)	○益子の焼き物について
平成28年 7月5日	江田 郁夫(前掲)	○益子の歴史文化の特性について(特に中世史)
平成28年 7月5日	星 直斗(前掲)	○益子の自然について
平成28年 9月9日	中山 正夫(町民代表/小宅古墳群整備に尽力) 大岡 忠男(町民代表/七井夏祭り復活に尽力) 黒子 善久(町民代表/上大羽地区づくりに尽力)	○益子の歴史文化の保存と活用について
平成28年 9月17日	廣田 茂十郎(前掲) 鈴木 英之(前掲) 添谷 玉枝(前掲)	○益子の歴史文化の保存と活用について

2. 基本構想の位置付け

2-1 上位計画の中での位置づけ

益子町の総合振興計画である「新ましこ未来計画」（平成28年度～32年度）では、「“ましこならでは”の住みたい価値をつくる」ことを目的に5つの基本目標が定められている。

その中では、室町時代中後期の建造物である7つの国指定重要文化財や数多くの伝統文化、自然が織りなす風景、民藝運動の拠点の地であるなど、様々な町の魅力を資産として捉えている。それらを発掘・再認識し、さらに町内外へ向けて積極的に発信することを課題とし、「地域資産を蓄積する」ことを基本目標4に掲げている。基本目標達成のための政策として、「政策（1）歴史や文化財、風土の活用と継承」の中で、基本構想の策定と、日本遺産への申請・登録が位置付けられている。

「益子町歴史文化基本構想」は益子の歴史文化を地域資産として総合的に把握し、保存・活用していくための基本構想である。

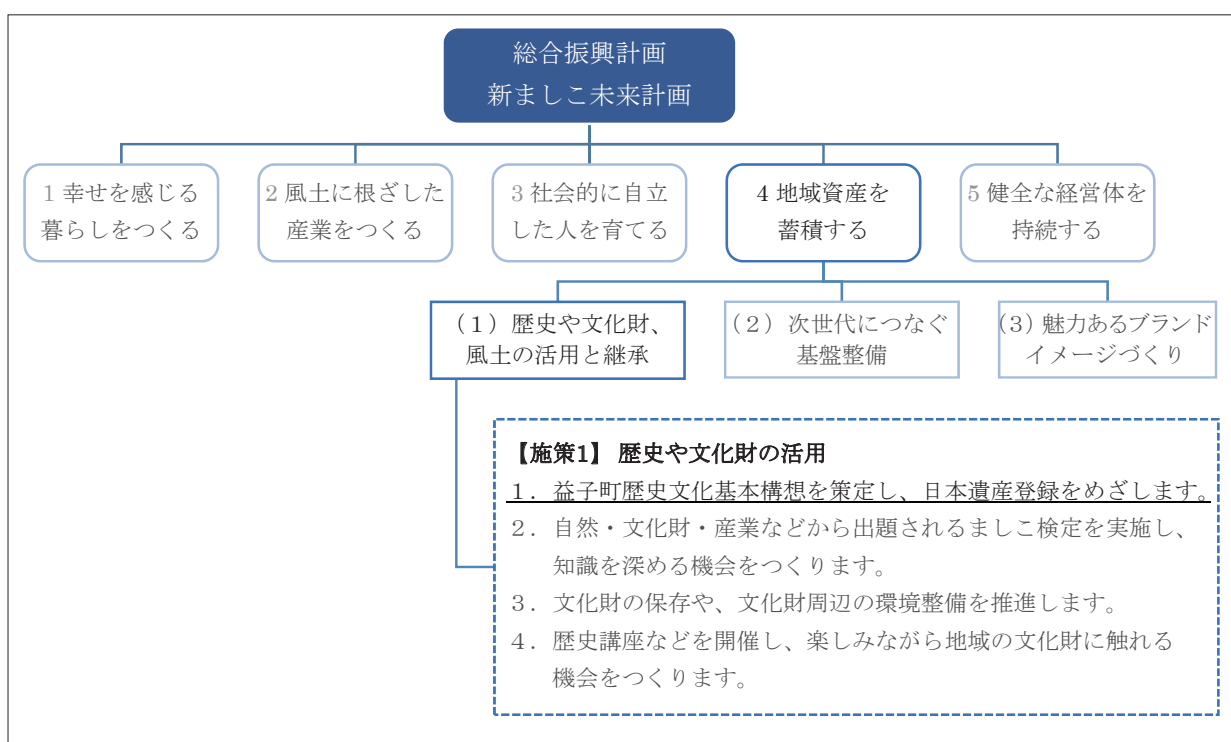


図 1-1 基本構想の上位計画の中での位置づけ

2-2 関連計画及び事業

歴史文化に関連する計画及び事業としては、以下のものが挙げられる。

- ・ 益子町第2次環境基本計画 平成25年4月～平成35年3月
- ・ 益子町森林経営計画 平成26年3月～平成31年2月
- ・ 益子農業振興地域整備計画 平成24年9月 策定
- ・ 益子町農村活性化計画（益子町農村地区）平成26年4月～平成30年3月
- ・ 地域再生計画
道の駅を核とした小さな拠点整備事業 平成27年6月～平成29年3月
- ・ 益子町都市計画マスタープラン 平成26年4月～平成45年3月
- ・ 都市再生整備計画（まち交） 平成26年4月～平成30年3月
- ・ 農業農村を元気にするまちづくり事業 平成26年4月～平成28年3月
- ・ 土祭実行委員会交付金事業 平成21年4月～平成29年3月※以降も継続の見込

また、上位計画である「新ましこ未来計画」において示される施策の中で、基本構想に関連するものは以下のものが挙げられる。

表 1-3 「新ましこ未来計画」における関連施策

施策	具体的行動
政策 1-2 住みよい持続可能なましこの創生	
施策 1 豊かな自然景観の形成と 身近な生活空間の整備	1 里山整備への人材あっせんや費用補助
	2 農地に隣接した里山・通学路などの環境整備
	3 地域で取り組む水辺の保全活動の支援
	4 前沢町有林の遊歩道の延長・山頂整備
	5 花のまちづくり
政策 1-3 健康・長寿ましこづくりの推進	
施策 2 食事を通じた健康づくりの推進	4 地域での伝承（郷土）料理を普及
政策 2-1 成長産業としての農業の確立	
施策 1 農業生産体制の整備	1 町独自の農地バンク制度づくり
	2 UIJ ターンで農業が選択される取組
	3 集落営農組織の育成・企業誘致
	4 畑地帯総合整備事業
施策 2 地域農産物の販路開拓	1 道の駅を拠点に、農産物の生産体制とインターネットによる販売体制の支援
	2 道の駅を拠点に、農業と観光業の連携による都市住民との交流拡大
	3 道の駅を拠点に、益子産のそば、小麦を使用した商品開発
	4 6次産業化の支援
	5 食卓や学校給食及び飲食店での地元農産物の利用の促進
	6 「はが野」の農産物のブランド化
	7 販路開拓
政策 2-2 スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり	
施策 1 商店の活性化と起業支援の充実	1 ましこの工芸をいかした空き店舗の利用推進
	2 企業への指導・支援、後継者育成のためのセミナーの開催、融資制度
	4 利用可能な空き店舗情報・求人情報・起業支援情報などを集約・紹介
施策 2 ものづくりの育成・支援	1 ブランド商品認定制度の確立・販路拡大
	2 手仕事人材バンクを設置、作家や工芸品の情報を一元化し町内外へ情報提供
	3 インキュベーションセンターの設立 ものづくりの人材育成や研究開発などの支援
	4 他の工芸の産地と協力した手仕事や伝統工芸品の PR

施策	具体的行動
施策3 「世界一」人が集う 焼きものの町づくり	1 他業種と連携した益子焼などを使った商品開発 技術者とデザイナーとのコラボレーション商品化の支援
	2 益子焼を使おう条例の制定
	3 道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしに取り入れられるよう推進
	4 益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組み作り
	5 窯業技術支援センターでの人材育成の支援
	6 益子芳星高校で行われている益子焼（陶芸）の授業などに協力
政策 2-3 観光の基幹産業化	
施策1 観光客誘客の拡大	1 DMO の設立も見据えた観光戦略会議の設置
	2 宿泊して楽しめるプログラムの設定、ラーニングパッケージの充実
	3 観光客の町内での移動の利便性向上 レンタサイクル借り受け・乗り捨て場所の整備及び連携強化
	4 民泊・ゲストハウスなどの環境づくりの支援
	5 各種観光パンフレットなどを統合したわかりやすい情報誌の作成
	6 土祭などのイベントの拡充・民間主導のイベントの支援
	7 益子大使を委嘱、観光PR活動
施策2 外国人観光客の誘客	1 栃木県国際観光推進協議会と連携強化、受入協力体制の構築
	2 外国人が町内で観光情報が閲覧できるよう、Wi-Fi の環境整備の支援
	3 多言語に対応した案内看板・パンフレットなどの整備
	4 国道121号線などを使った観光ルートづくり
政策 3-1 未来にはばたく人財の育成	
施策2 学びを通して社会に 貢献できる人財の育成	2 小・中学生の友好都市・姉妹都市との相互国際交流事業
施策4 人財が育つ環境づくり	1 ましこ町民大学を開校し、まちづくりの核となる町民学士の育成 2 自然・文化財・産業などから出題されるましこ検定を実施
政策 4-1 歴史や文化財、風土の活用と継承	
施策1 歴史や文化財の活用	1 益子町歴史文化基本構想の策定、日本遺産登録
	2 自然・文化財・産業などから出題されるましこ検定の実施
	3 文化財の保存や、文化財周辺の環境整備の推進
	4 歴史講座などの開催
施策2 風土や風景、風習の継承	1 ましこ世間遺産認定制度の新設
	2 ましこアカマツ復活プロジェクト
	3 地域の祭りや風習を記録・保存、各種イベントなどを通して町内外へ発信
政策 4-2 次世代につなぐ基盤整備	
施策1 ましこのランドスケープ デザインの作成	1 町内の回遊性を高める道路整備
	3 長期的な景観づくり、景観条例の制定
施策2 特性をいかした地域創生	2 雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなどの周辺整備 周遊観光、トレッキングができるルートづくり
	3 小貝川サイクリングロードの整備
	4 益子の森の遊具や施設の整備
	5 歩行者や自転車を優先に考えた道路、街並みに配慮した観光ルートづくり
政策 4-3 魅力あるブランドイメージづくり	
施策1 町のブランドイメージの確立	1 全町的なブランド戦略会議の設置
	3 各種イベントを通して、ましこを愛する人を増やす
	4 トップセールスや映像、メディアなどを利用した国内外プロモーション
政策 5-3 町民主体のまちづくり	
施策1 公共サービスの新しい 担い手への支援	1 町民団体や社会的企業の担い手である活動家や社会起業家を発掘・育成
	2 町民団体や社会的企業の資金調達環境整備・ビジネススキル向上などの支援
施策2 地域の「ちから」の結束への支援	2 既存組織（自治会・育成会・いきいきクラブなど）の強化・新たな組織づくりの支援

2-3 基本構想の構成

基本構想は、策定の概要をまとめた第1章、益子町の概要と歴史文化遺産の現況をまとめた第2章、歴史文化の特性と保存活用の課題をまとめた第3章、歴史文化保存活用の方針をまとめた第4章、実施に向けての検討をまとめた第5章によって構成される。それぞれの章の概要は次の通りである。

(1) 第1章 基本構想策定の概要

基本構想を策定するまでの背景と目的、経緯をまとめるとともに、益子町行政の関連計画や事業をまとめ、基本構想の位置づけを示した。

(2) 第2章 益子町の概要と歴史文化遺産の現況

益子町の立地や交通、自然、歴史、現在の社会的状況、益子町行政の中でも文化財および歴史文化に関わる体制や施策をまとめた。また、歴史文化に関わる町民の活動や意識についても調査を行い、結果をまとめた。

(3) 第3章 歴史文化の特性と保存活用の課題

第2章の益子町の概要から導き出される町の歴史文化の特性についてまとめた。また、文化財および歴史文化に関わる調査で得られた町の歴史文化遺産をまとめ、その保存活用の現状と課題について示した。

(4) 第4章 歴史文化保存活用の方針

歴史文化保存活用のための基本理念を示し、歴史文化を生かした町づくりと文化財の保存活用の方針を示した。第3章で示した歴史文化の特性から導き出される4つのテーマ《歴史の里ましこ》《工芸・芸術の里ましこ》《祭りと芸能の里ましこ》《みどりと土の里ましこ》を設定し、テーマごとの構成資産と関連文化財群を抽出した。また、歴史文化保存活用区域を設定して、より具体的な保存活用の方向性を示した。

(5) 第5章 実施に向けての検討

第4章でまとめた歴史文化保存活用を実施していくための事業展開や今後の課題についてまとめた。